

1956年教育映画祭最高賞受賞



文 部 省 選 定
厚 生 省 推 せ ん

百人の陽気な女房たち



企 画
製 作
配 給

全国地域婦人団体連絡協議会
母と子の桜映画社
株式会社教育映画配給社

百人の陽気な女房たち

三卷



製作 村山英治
脚本演出 青山通春
撮影 牛山邦一
照明 田畑正一
音楽 渋谷修
美術 長野正親

出演 戸田春子
田所千鶴子
亘幸子
新田喜美枝
島田屯
高野二郎
米倉栄

都会の片すみにも見られる裏町、ほこりっぽい空気とゴミの山と、じめついた裏長屋、しかしこの子供たちにとってはかけがえのない、ふるさとなのだ。

ある日、子供たちの一人ケン坊がエキリになった。消毒に来た保健所の人は、ゴミの山にハエがむらがり、たまり水にボートフラがおどり、ふたのないゴミ箱からはうじがはい出ている有様を指摘した。こんな所が、伝染病の巣そのものなのだ。

きれいなあるおばさんは、何とかしてこの町を蚊もはえない町にしたいと思った。

おばさんがまず目をつけたのは、はえの一番多い魚屋だが、ことばの行きがちがいくら屋のおやじをおこらせてしまった。

そのつぎにおばさんは、同じ長屋のおばさんと二人で、隣近所の便所の消毒からやってみた。しかし、ある家では清掃屋とまちがわれたり、ひとの家のことまで口を出すなといわれたり、人権じゅうりんだとおこられたり、どつろを向いても冷たい目ばかりだった。「もうやめようよ」という仲間に、おばさんはもう一度、こんどは市役所へ行ってみようとかづけた。それもだめだった。何とかしたいが、予算がないというわけである。

「ヨッチちゃんが川へ落ちたよッ」

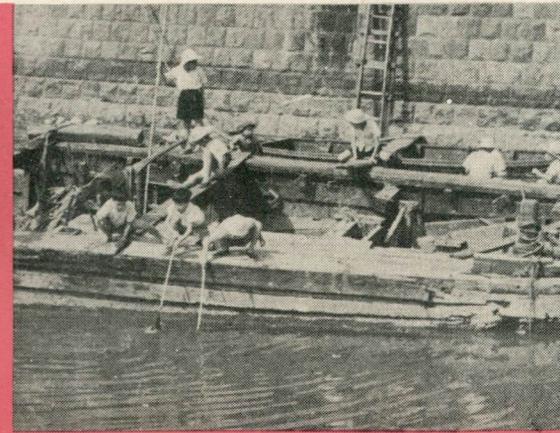
遊び場のない子供は、いくら止めても川で遊ぶ。重い足で帰ってきたおばさんたちは、あわてて川へかけつけた。夜どおし川をさがす舟の作業をみつめながら、おばさんは決心した。

おばさんは、ゴミの山の空地を一人でかたづけ出した。何といわれてもやめなかった。そのうちに子供たちが手つたうようになった。ヨッチちゃんのお母さんも仲間に入った。ゴミの山が低くなるというしよに、近所のはえも目に見えて少なくなった。そうなる、おばさんたちも認識を新しくして、婦人会を作り、ゴミのことも遊び場のこともみんなの問題として話しあうように成長してきた。そして町をあげての協力を発展していった。

ガンコおやじが清潔第一を心がけたり、ゴミ箱を寄付する人があったりするように。休みの日には、汲取口をセメントで固めたり、二重ブタを工夫するのが流行になったりした。

市役所も下水の修理や、川の清掃をはじめることになった。月三回の清掃日には、カネを合図に一せいに清掃がはじまるこの町は、これからはきっと悪い病気も出ないだろうし、あかるい住みよい所になるだろう。

(価格 三八、〇〇〇円)





おやつ

二巻

企 画 全国地域婦人団体連絡協議会
製 作 母と子の桜 映 画 社



小さい子どもたちは、朝から晩まで食べることに一生けんめいです。しかし、大人たちは自分たちのことについていっばいで、子供たちがにぎらされたおこずかいを持って、どこへ行くかはあまり関心を持たないようです。おやつの時間をきめて、きちんと与えている家でも、おやつ栄養を十分考えているお母さんは何人あるでしょう。おやつはとかく子供をだます甘いお菓子になりがちです。そのお菓子ですが、残念ながら栄養的にも、清潔さからいっても十分に考えられているとはいえません。正規の監視の目をもぐる業者があります。また、もぐり業者の安菓子からさえもおき忘れられた子もいます。心も体もみちたりのおやつを、子供たちは心からのぞんでいるのです。

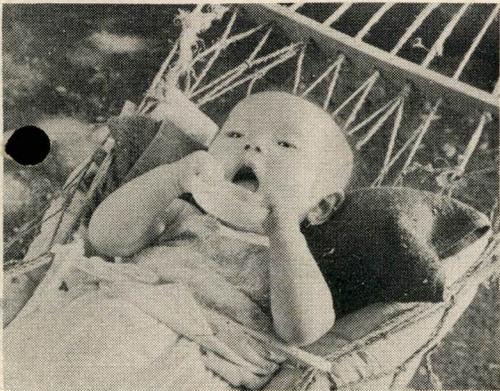
さよなら蚊とはえさん



企 画 全国地域婦人団体連絡協議会
製 作 母と子の桜 映 画 社

あたたかくなると、きまって出てくるのが蚊とはえです。蚊やはえをなくすには、蚊やはえの製造工場である発生源をなくしてしまわなければだめです。無関心な人も多く、困難もありましたが、それをのりこえ、やがて全村一致の体制ができた時、家の内外がきれいになったのと同時に、村は見ちがえるようになっていました。はえも蚊もない、赤ちゃんの天国ができていました。

(二巻 三〇、〇〇〇円)



株式会社 教育映画配給社

本 社 東京都中央区銀座西六ノ三朝日ビル
電話 銀座 (57) 4786・4787・4788 番
関西支社 大阪市北区中之島朝日ビル
電話 北浜 (23) 7912 番
北海道支社 札幌市北二条西三丁目
大北モーターズビル
電話 (3) 2502 番

関東支社 東京都中央区銀座西六ノ三朝日ビル
電話 銀座 (57) 1793・4559・0597 番
九州支社 福岡市上呉服町二三 日新会館
電話 東 (3) 2316 番
中部支社 名古屋市中村区堀内町四ノ一
毎日名古屋会館
電話 (55) 5778 番